

高次脳機能障害とともに歩んで

—「何も知らなかった」「大したことない」「うちは大丈夫」からの出発—

高次脳機能障害という言葉は少しずつ知られるようになってきました。しかし、見た目ではわからない障害であるため、学校や職場、地域で理解を得ることは、今もって大きな課題です。

今回の勉強会では、高次脳機能障害者の娘を持つ、当NPO法人の濱田代表の話を聞くとともに、高次脳機能障害者の支援に携わっている言語聴覚士の本多留美さんに解説していただきます。

講師：本多 留美さん (言語聴覚士・元県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科准教授)

濱田 小夜子 (NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま代表)

日時：平成28年3月13日(日) 13:30～16:00

場所：廿日市市健康福祉センターあいプラザ 講座室

対象：当事者とそこご家族及び関心のある方

高次脳機能障害者の支援に携わっておられる支援者

(医師、PT・OT・ST、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、相談支援専門員、障害福祉サービスや介護保険サービスのスタッフ等)

【プログラム】

- ① ミニレクチャー
「高次脳機能障害とは」
本多留美さん
- ② 対談「高次脳機能障害とともに歩んで」
濱田小夜子代表
聞き手 本多留美さん

【濱田代表からのメッセージ】

娘が交通事故に遭ったのは、22年前、娘が18歳の時でした。外見は全く健常者と同じですが以前の娘とは人格が変わりました。当時、高次脳機能障害は知られておらず、障害についての説明もないため、元に戻ると思い、本人を変えようと大変苦労しました。7年目にやっと高次脳機能障害と出会い、気持ちが楽になり、娘を少し理解できるようになりました。

こうした経験から、高次脳機能障害の理解の促進や当事者と家族の支援などを行う会を立ち上げました。

長い道のりを経て、高次脳機能障害に対する医療や行政の理解は深まったと思います。しかし、高次脳機能障害は治るわけではありません。問題は日々起こります。「親亡き後」など将来への不安は尽きません。

私自身は決して、娘の良き理解者ではありませんでしたが、今回の勉強会では、私たちのこれまでの歩みと、その折々に、悩みながら学んできたことなどをお話しさせていただき、皆さんと共有できればと思います。



NPO法人 高次脳機能障害
サポートネットひろしま
クラブハウス・シェイキングハンズ
脳外傷友の会 シェイキングハンズ

後援：廿日市市

※ お申し込みは、FAX またはメールでお願いいたします。

〒731-0154 広島市安佐南区上安2丁目30-15 NPO法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま
電話：082-847-0031 FAX：082-847-0032 メールアドレス ko-jinet@aioros.ocn.ne.jp

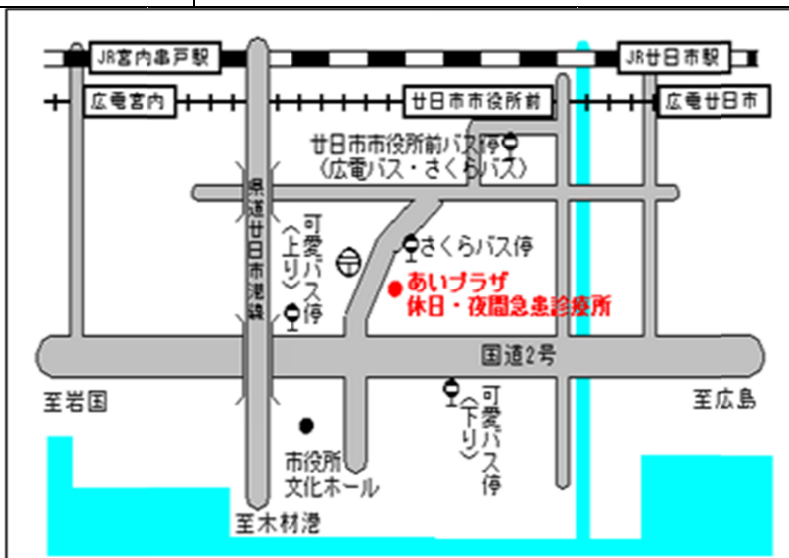
FAX 082-847-0032 高次脳機能障害サポーターひろしま 行

平成28年3月13日(日)講演会 申し込み

勉強会に参加しようと思ったきっかけ、気になっていること、知りたいこと、聞いてみたいことがございましたらご記入ください。

受付名簿を五十音順にするため、フリガナのご記入にご協力をお願いします。家族・当事者・関係機関・その他の該当するところに○をしてください。

フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
所属機関名 (職種)	()
連絡先	〒
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	



- JR 宮内串戸駅下車徒歩約13分
廿日市駅下車徒歩約15分
- 広島電鉄 廿日市市役所前駅下車徒歩約5分
- 広電バス 可憐バス停(上り)下車徒歩約2分
可憐バス停(下り)下車徒歩約1分
- さくらバス あいプラザバス停下車すぐ

駐車場はありますが、
台数に限りがありますので、
できるだけ公共交通機関で
お越しください。